

ICT を活用した学習場面

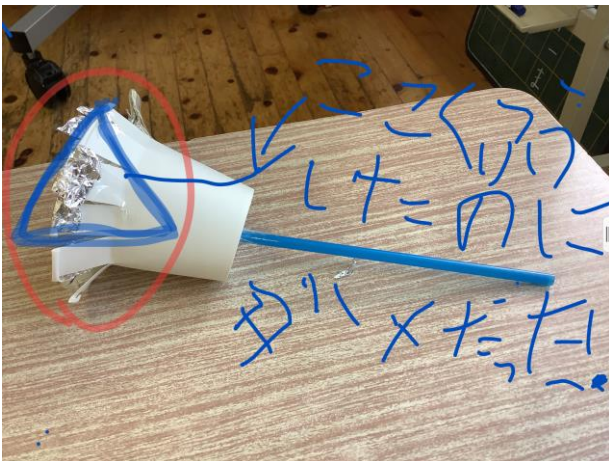
B3 思考を深める学習, B4 表現・制作

生活科	1年1組 平林 侑子
単元名 われら1ねん1くみシャボンだまけんきゅうじょ (4/7)	
本時のねらい: シャボン玉遊びに使う物について, 遊ぶ中での気づきを共有したり, iPadで撮影していた写真や振り返りシートに記入したりすることを通して, 本時の学習での気づきや工夫, 次時の活動への思いを表現できるようにする。	
評価規準: シャボン玉遊びに使う物について, 本時の学習での気づきや工夫, 次時の活動への思いを表現している。【思考・判断・表現】	

指導の流れ

児童の活動 (ICT 活用の様子)・ICT 活用のねらいや留意点

1. これまでの学習を振り返り, 道具で工夫したところを伝え合う。
2. 前時に作っていたシャボン玉遊びの道具で遊んだり試したりし, その中での気づきを適宜出し合う。
3. 本時の振り返り (本時の学習での気づき・次時の活動への思い) を iPad の写真や振り返りシートに記入する。



- 作った道具を写真に撮り, 写真に本時の気づきを直接書き込むことで, より端的に気づきを表現できるようにする。
- 道具への気づきは写真に, 次時の活動への思いは振り返りシートに文で書かせるというハイブリッドの形をとり, 道具の工夫を絵に描かないことで, 振り返りの時間をしっかりと確保できるようにする。

ICT 活用の効果 (困りが解決されたか)

成果: 道具を絵に描き, 気づきを表現するとなると, ①絵を描くことに多く時間が割かれてしまい, 振り返りの時間が足りなくなってしまうたり, ②絵がうまく描けないことで, 集中が途切れてしまったりすることがある。しかし, 道具を写真に撮り, 直接気づきを書きこむことで上記の二つの困りを解決することができた。また, 道具の写真に直接書き込むことで, 工夫を端的に振り返ることができるため, 次時の活動への思いを具体的に持つことができていた。

課題: 本時の中での振り返りの時間の確保にはつながったが, 「写真を印刷して貼る」という時間が新たに発生してしまったため, 時間の確保が別に必要となってしまった。それぞれの時間の振り返りの在り方 (写真に書きこむのみ・振り返りシートに文を書くのみなど) を再度検討する必要がある。